

2017年度 事業報告書 (2017年1月1日～12月31日)

特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会

I 事業の成果

本年度は、年間を通して UN Women への募金・寄付活動と広報活動を柱に、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けて、団体・企業・自治体等との連携を進め、UN Women への協力促進を図りました。

特に、認定 NPO 法人として、募金・寄付活動に積極的に取り組みました。また、今後募金・寄付活動をさらに促進するために、収益事業活動について積極的に検討を行いました。

UN Women 国内委員会ミーティング、その他の国際会議へ代表を派遣するとともに、来日した UN Women 担当者等との会合を持ち、UN Women との連携を深め、国際的な活動の充実に努めました。

国内での女性のエンパワーメントや地位向上のための活動にも取り組み、内閣府の国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業において、内閣府との共催でシンポジウムを開催しました。

II 事業内容

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 日本の社会に UN Women についての理解を深めるための広報活動事業

ア 情報発信広報啓発普及事業

- ・内容 ① UN Women本部、日本協会、協力協定団体の活動を関係者に広報するために、ニューズレター「国連ウィメン日本協会」を制作、発行。
12号（1月：3,300部）、13号（6月：3,300部）
- ② ホームページ「国連ウィメン日本協会」の内容の一部改訂、適時更新。
- ③ 寄付活動を促進するために、寄付案内パンフレットを新規作成し、随時配布。（3,000部）
- ④ 活動ミッションを制定、広報のためのキャッチコピーを決定した。
- ⑤ ベトナムダナン支援プロジェクトの成果を広報するために、「地域ぐるみで女性・少女に対する暴力にNO！」日本語字幕つきDVDを作成し配布した。
- ⑥ UN Women本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページに掲載、その他資料等を随時翻訳した。
- ⑦ メールマガジンを発行し、情報の発信に努めた。登録者数400件
第33号（1月）から第39号（11月）まで、全7回
- ⑧ UN Women及び国連ウィメン日本協会を各地で広報
 - ・理事 「女性と新たな人道支援」会議における発表
日時：3月8日（水） 場所：ベルギー・ブリュッセル
 - ・理事 戸板ゼミナール「世界の女性とともに」
日時：6月8日（木） 場所：戸板女子短期大学
 - ・理事 「世界防災フォーラム・ジェンダープレ会議」における講演

- 日時：5月23日（水） 場所：メキシコ・カンクン
- ・理事 「世界復興会議」パネルディスカッションにおける発表
- 日時：6月7日（木） 場所：ベルギー・ブリュッセル
- ・副理事長 第55回日本糖尿病学会九州地方会における講演
- 日時：10月14日（土） 場所：フェニックス・シーガイア・リゾート
- ・理事 城西国際大学における女性学の講義
- 日時：11月～12月 場所：城西国際大学
- ・日時 通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 一般市民 多数
- ・支出額 1,590,938円

イ 情報提供・理解促進のための各種事業

内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会の活動を広報（情報提供含）するため国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の一環として、また外務省シャインウィークス公式サイドイベントとしてシンポジウムを省庁、大学、団体等の協力を得て実施した。

- ・「AI時代 女性・少女が未来を拓くステレオタイプの殻を破ろうー」基調講演「AI時代のキャリア形成～女性・少女が躍進する未来に向けて～」

基調講師：井上智洋（駒澤大学経済学部准教授）

- ・パネルディスカッション「AI時代 テクノロジーと共存する社会で女性・少女はどのように仕事や生活にチャレンジしていくのか」

パネリスト：萱野稔人（津田塾大学総合政策学部長・教授）

国谷裕子（東京芸術大学理事）

戸嶋一葉（日本マイクロソフト株式会社プラクティスディベロップメントマネージャー）

井上智洋（駒澤大学経済学部准教授）

コーディネーター：田中由美子（国連ウィメン日本協会理事）

- ・日時 12月2日（土）14:00～16:40
- ・場所 津田塾大学
- ・従事者人員 19人
- ・受益対象者 210人
- ・支出額 301,310円

（2）関係機関・団体に対する UN Women への協力促進活動事業

ア 国際的な協力・連携事業

内容 ①UN Women 国内委員会 ミーティング（第61回国連婦人の地位委員会（CSW）期間中と各国持ち回りで秋に開催）に理事が参加

②UN Women 本部戦略的パートナーシップ局のディレクターとの打ち合わせ

③UN Women 本部人道支援・危機予防担当者3名との会合

④UN Women 本部戦略的パートナーシップ局シニア・パートナーシップ・
スペシャリストとの打ち合わせ

- ・日時 ①3月16日～17日、10月24日～26日 ②4月4日（火）
③7月6日（木） ④10月12日（木）
- ・場所 ①米国（ニューヨーク）アイスランド（レイキャビック）
②UN Women 日本事務所 ③④日本プレスセンタービル
- ・従事者人員 ①各1人 ②6人 ③2人 ④5人
- ・受益対象者 ①～④世界の女性
- ・支出額 合計 826,745円

イ 外務省、UN Women 日本事務所との協力・連携事業

内容 外務省 国際女性会議 WAWへの参加

- ・日時 11月1日～3日
- ・場所 東京プリンスホテル
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 合計 25,110円

ウ 各省庁・自治体・団体等との協力促進・連携事業

内容 ①スポーツ庁が実施しているスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソー
シアムに会員として継続して参加
②男女共同参画推進連携会議の「国際的に連携した女性のエンパワーメ
ント促進」チームに、団体推薦議員として理事が参加
③WEPs（女性のエンパワーメント原則）を推進する「WEPs日本
連絡会」（構成団体：国連ウィメン日本協会、グローバル・コンパクト・
ネットワーク・ジャパン（GCNJ）、日本BPW連合会、UN Women 日本
事務所）に理事が参加し、WEPsの啓発・推進を行った。

- ・日時 随時
- ・場所 各省庁 他
- ・従事者人員 延べ10人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 合計 75,328円

(3) 募金活動による UN Women への支援活動事業

ア UN Women への拠出のための（募金・寄付による）ファンドレイジング事業

内容 UN Women 募金・寄付金

年間を通して、正会員、協力協定団体などによる募金・寄付活動が活発
に行われた。企業等に働きかけ、企業や団体、個人から寄付があった。

2017年度UN Women通常募金・寄付金総額 4,754,717円

2017年度UN Womenへの拠出金額 3,566,038円（総額の75%）

（2018年6月 UN Women に支援プロジェクトを指定し送金予定）

- ・2016年度UN Women拠出金2,686,958円（23,956.48ドル）を2017年
5月23日に支援プロジェクトを指定しUN Womenへ送金した。

2016年度拠出金による支援プロジェクト

- ・ベトナムダナン「女性と女兒に対する暴力のない地域づくりプロジェクト」 1,686,958円（15,040.63ドル）
- ・女性に対する暴力撤廃信託基金 1,000,000円（8,915.83ドル）

- ・日時 募金・寄付は通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 34,218,144円（資生堂と本部との事業費含む）

(4) UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴ使用に関する業務事業

ア UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴの管理事業

内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会・協力協定団体の名称・ロゴの使用に関し、協力協定団体、企業等に周知を図り管理・監督に努めた。

協力協定団体については、ネットワーク会議の場で、名称・ロゴの使用に関して周知を図ると共に、各団体活動報告、情報・意見交換等を行った。

- ・日時 2月25日（土）14:30～16:30
- ・場所 婦選会館
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 一般市民 協力協定団体会員
- ・支出額 170,976円

2 その他の事業

(1) その他の募金活動に関連する収益事業

今年度はその他の事業を実施していない。